

ウエストホールディングス (1407)

連結	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株益	1株配
20.8	619 億円	72 億円	66 億円	44 億円	107.7円	34.6円
21.8	679 (+10%)	101 (+41%)	96 (+46%)	65 (+47%)	159.7円	50.0円
22.8 予	900 (+32%)	125 (+23%)	115 (+19%)	75 (+15%)	184.5円	60.0円
23.8 予	1,200 (+33%)	170 (+36%)	160 (+39%)	100 (+33%)	246.0円	75.0円

株価情報 (4/20時点)	
株価:	5,100 円
時価総額:	2,074 億円
PER(22.8予):	27.6倍
PER(23.8予):	20.7倍
配当利回り(22.8予):	1.2%

大和証券予想 (21年11月8日時点)、実績は決算短信。

今期は電力事業不振を再エネ事業で補う見通し。ウエスト FIT/自家消費向け軸に中長期高成長見込む

太陽光発電施工大手。FIT 後の需要獲得に注力

太陽光発電所の EPC(設計/調達/施工など)が中核事業(再生可能エネルギー事業)。既設メガソーラーを購入し価値向上して販売する再生事業も行う。固定価格買取制度(FIT,再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が国指定の公定価格で一定期間買い取る義務)の売電価格低下により、FIT 制度下のメガソーラー開発は需要縮小が見込まれる。このため同社が開発し販売した太陽光発電所から電力を買い取り、電気小売業者に売電するウエスト FIT(図表①)や、自家消費等 FIT 後も需要増加が見込める事業に注力する。

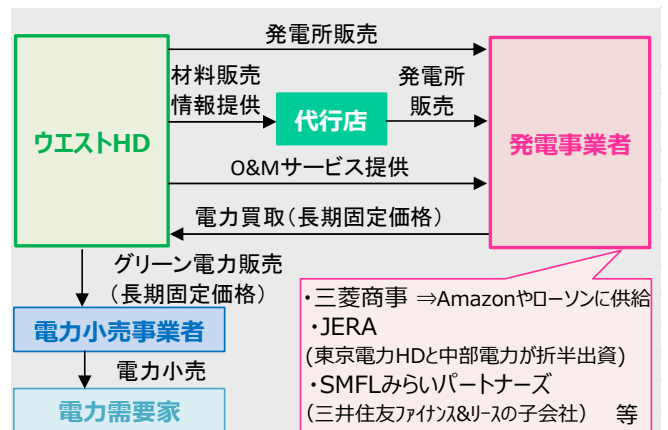
2Q は電力事業の赤字を再エネ事業の増益でカバー

22/8 期上期(9-2 月)の営業利益は 27 億円(前年同期比 19%減)と期初計画(40 億円)を下回った。2Q(12-2 月)は 22 億円(同 37%増、図表②)。1Q 同様、電力需給が逼迫し、電力仕入価格が上昇。採算が悪化し、電力事業は 8 億円の赤字(前年同期は 2 億円の黒字)となった。これをカバーするため、メガソーラー再生で下期に予定していた案件を前倒しで進め、再生可能エネルギー事業は 26 億円(前年同期比 3.2 倍)となった。尚、電力小売事業は最終供給日を 22 年 6 月末とし、撤退を決定している。

通期計画は据え置き。需要潤沢なウエスト FIT に期待

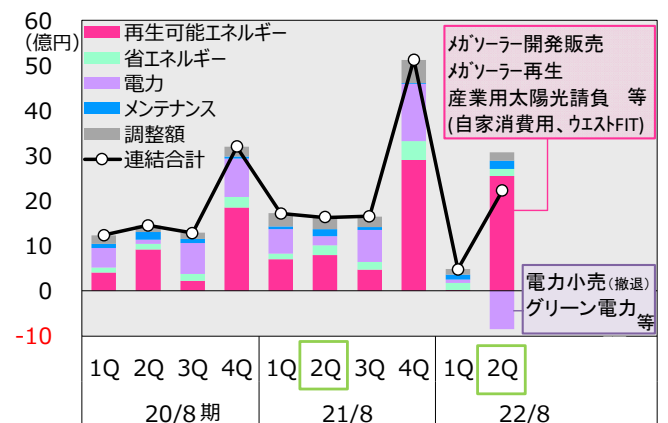
通期会社計画(売上高 913 億円、営業利益 117 億円)は据え置かれた。利益面では、電力事業の下振れを、再生可能エネルギー事業で補うことが可能と見られる。具体的には、①メガソーラー開発販売で来期予定していた千葉県の大規模案件を今 4Q に前倒しで販売する予定。②ウエスト FIT 向け発電所も当初予定より前倒しで開発・販売を進めていく。ウエスト FIT は既に三菱商事や JERA、SMFL みらいパートナーズ等との提携による開発が決まっており、来期以降も含め需要は潤沢。また、国内のエネルギー自給率の引き上げに絡み、再エネ開発が加速すると見られる中、太陽光発電所開発最大手の同社に期待できよう。旺盛な需要を背景に中長期で高成長が見込まれる。(高取千登)

① ウエスト FIT の仕組み



(注) O&M サービスは運用管理や保守点検サービス。グリーン電力は太陽光など発電時に二酸化炭素を排出しない再生可能エネルギーで発電した電力(出所) 会社説明、各種資料より大和証券作成

② セグメント別営業利益 (四半期)



(注) 2Q=12-2 月。株式会社ウエスト電力による電力小売事業は撤退予定。グリーン電力事業ではウエスト FIT を活用した発電所からの電力を販売(図表①)(出所) 会社資料より大和証券作成

株価推移 (週足)



本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する決定は、銘柄選定を含め最終的にはご自身の判断でなさいようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行なう場合、約定代金に対して最大 1.26500%（但し、最低 2,750 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては約定代金に対して最大 0.99000%の国内取次手数料（税込）に加え、現地情勢等に応じて決定される現地手数料および税金等が必要となります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動（裏付け資産の価格や収益力の変動を含みます）による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほか、為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行なうにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行なうことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された購入時手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行なわれていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 / 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本 STO 協会

【保有株式等について】

大和証券は、このレポートに記載された会社が発行する株券等を保有し、売買し、または今後売買することがあります。大和証券グループが、株式等を合計 5%超保有しているとして大量保有報告を行なっている会社は以下の通りです。（2022 年 3 月 31 日現在）

コムシスホールディングス(1721) サンケイリアルエステート投資法人(2972) 日本アコモデーションファンド投資法人(3226) 森ヒルズリート投資法人(3234) サムティ(3244) 産業ファンド投資法人(3249) ファンドクリエーショングループ(3266) アドバンス・レジデンス投資法人(3269) ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人(3278) GLP投資法人(3281) コンフォリア・レジデンシャル投資法人(3282) 日本リート投資法人(3296) 積水ハウス・リート投資法人(3309) ケネディクス商業リート投資法人(3453) ヘルスケア&メディカル投資法人(3455) サムティ・レジデンシャル投資法人(3459) ラサールロジポート投資法人(3466) 三井不動産ロジスティクスパーク投資法人(3471) ティーケービー(3479) 三菱地所物流リート投資法人(3481) データセクション(3905) オンコセラビー・サイエンス(4564) ダイト(4577) レナサイエンス(4889) 東邦亜鉛(5707) TDK(6762) アドバンテスト(6857) 太陽誘電(6976) アストマックス(7162) GMOフィナンシャルホールディングス(7177) グッドスピード(7676) クレディセゾン(8253) マネーパートナーズグループ(8732) ジャパンリアルエステイト投資法人(8952) 日本都市ファンド投資法人(8953) オリックス不動産投資法人(8954) グローバル・ワン不動産投資法人(8958) ユナイテッド・アーバン投資法人(8960) インヴィンシブル投資法人(8963) 日本ロジスティクスファンド投資法人(8967) ケネディクス・オフィス投資法人(8972) 大和証券オフィス投資法人(8976) 大和証券リビング投資法人(8986) ジャパンエクセレント投資法人(8987) Green Earth Institute(9212) 三井倉庫ホールディングス(9302) 帝国ホテル(9708) ファーストリテイリング(9983)（銘柄コード順）

【主幹事を担当した会社について】

大和証券は、2021 年 4 月以降下記の銘柄に関する募集・売出し（普通社債を除く）にあたり主幹事会社を担当しています。

住友林業(1911) アルトナー(2163) ライフドリンク カンパニー(2585) サンケイリアルエステート投資法人(2972) SOSIL A物流リート投資法人(2979) SREホールディングス(2980) 東海道リート投資法人(2989) ストレージ王(2997) ヒューリック(3003) 日東紡績(3110) アクティブ・プロパティーズ投資法人(3279) コンフォリア・レジデンシャル投資法人(3282) One リート投資法人(3290) イオンリート投資法人(3292) ヒューリックリート投資法人(3295) クリエイト・レストランツ・ホールディングス(3387) ケネディクス商業リート投資法人(3453) サムティ・レジデンシャル投資法人(3459) ケイアイスター不動産(3465) 三井不動産ロジスティクスパーク投資法人(3471) 三菱地所物流リート投資法人(3481) Sun Asterisk(4053) ワンダーブラネット(4199) 恵和(4251) THECOO(4255) BeeX(4270) クイック(4318) モビルス(4370) コアコンセプト・テクノロジー(4371) Photosynth(4379) フレクト(4414) JDS(4418) Finatextホールディングス(4419) Chatwork(4448) ミルボン(4919) サークレイス(5029) 日本郵政(6178) ルネサスエレクトロニクス(6723) ウェルスナビ(7342) デコルテ・ホールディングス(7372) ネットプロテクションズホールディングス(7383) タカショー(7590) 幸和製作所(7807) 日本ビルファンド投資法人(8951) フロンティア不動産投資法人(8964) 平和不動産リート投資法人(8966) 大和ハウスリート投資法人(8984) 大和証券リビング投資法人(8986) フルハシEPO(9221) AB&Company(9251) 朝日放送グループホールディングス(9405) 福井コンピュータホールディングス(9790)（銘柄コード順）

本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する決定は、銘柄選定を含め最終的にはご自身の判断でなさいようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。